

2021年10月3日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「サウロの救い」

使徒 9:1~9

- 1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところにいき、
- 2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。
- 3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。
- 4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか」という声を聞いた。
- 5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった。わたしは、あなたが迫害しているイエスである。
- 6 立ち上がって、町に入りなさい。そうすれば、あなたのしなければならないことが告げられるはずです。」
- 7 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれも見えないので、ものも言えずに立っていた。
- 8 サウロは地面から立ち上がったが、目は開いていても何も見えなかった。そこで人々は彼の手を引いて、ダマスコへ連れて行った。
- 9 彼は三日の間、目が見えず、また飲み食いもしなかった。

(A) サウロがイエス・キリストを信じる者を迫害した理由

使徒 9:1, さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、

使徒 9:2, ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

なぜサウロがイエス・キリストを信じたものをここまで迫害したのか。クリスチャンはイエス・キリストだけが神様で他の宗教は偶像だと信じています。しかし、他の宗教を信じる者を迫害することはしません。サウロはなぜここまでイエス・キリストを信じる者を迫害したのか。サウロはイエス・キリストを信じる者を恐れたのだと思います。サウロはステパノが石で打ち殺されているところを目撃していたのです。ステパノは死を恐れていないのです。ステパノは死を恐れていないどころか

使徒 7:56, こう言った。「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」

ステパノは死を恐れていないどころか、イエス・キリストを見て喜んでいるのです。

使徒 7:60, そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。「主よ。この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、眠りについた。

自分を殺そうとしている人たちの罪を赦してくださいと神様に祈っているのです。

I コリント 15:54, しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた。」とするされている、みことばが実現します。

死に勝利しているのです。サウロはイエス・キリストを信じる者と戦っても勝ち目はないと思ったのです。

第 2 次世界大戦でアメリカと日本が戦った時、ミッドウェイ海戦で日本は破れました。アメリカは日本の暗号を読解していたのです。アメリカは日本の航空母艦がミッドウェイのどこに来るかを知っていたのです。アメリカは日本の航空母艦から飛行機が飛び立つ前に、アメリカは飛行機に爆弾を積んで日本の航空母艦めがけて爆弾を落としましたのです。日本の航空母艦は壊滅したのです。アメリカは優勢になりガダルカナルの戦いでも日本は作戦で負けたのです。

最後に日本のとった作戦は特別攻撃隊です。死を覚悟して飛行機に爆弾を積んでアメリカに航空母艦に体当たりするのです。アメリカの航空母艦で働いていた船員の多くが気が狂ったといいます。死を覚悟して飛び込んでくるのです。アメリカの戦艦で働いている船員は特別攻撃隊を恐れたのです。

それと同じようにサウロも死を恐れていないステパノを見て恐れたと思います。死を恐れていない人と戦うほど怖いものはありません。ここま行くパリサイ派はイエス・キリストを信じる人たちに負けてしまうと思ったのです。

だからサウロはイエス・キリストを信じる者を皆殺しにしようと考えたのです。ダマスコまでイエス・キリストを信じる者を追いかけてきたのです。(ダマスコはガリラヤ湖の北 100 キロのところにあります)

(B) サウロの救い

使徒 9:3, ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。

使徒 9:4, 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。

サウロは「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。使徒 9:3 から「突然、天からの光が彼を巡り照らした。」サウロも神様からの声だと直感したのです。

使徒 9:5, 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

サウロは天からの光を見ていますので主よと答えています。そしてあなたはどなたですか。と尋ねています。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。」サウロはイエス・キリストは十字架で殺されたと固く信じていたのです。死んでいると固く信じている人から声をかけられたらどう思います。

しかもサウロはイエス・キリストを信じている人をとらえて殺していたのです。死んでいると固く信じているイエス様から声をかけられたら、サウロは気を失ったのではないのでしょうか。これは天国へ行ってサウロに聞いてみなければその驚きがどんなものであったかはわかりません。

戦争で死んだと思っていた人がシベリヤで捕虜にされていましたが、日本に帰って来た時の喜びはその家族でないと分かりません。しかしサウロの場合は、イエス・キリストは十字架で殺されたのです。

しかしイエス・キリストを信じる人はイエス・キリストは死人の中から三日目に蘇ったと信じているのです。そんな馬鹿なことを信じている者は皆殺しにすべきだと信じ実行していたのです。しかしイエス・キリストは実際に蘇られてサウロに「わたしはあなたが迫害しているイエスだ」と言われたのです。

使徒 9:6, 立ち上がって、町にはいりなさい。そうすれば、あなたのしなければならぬことが告げられるはずです。」

使徒 9:7, 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれも見えないので、ものも言えずに立っていた。

使徒 9:8, サウロは地面から立ち上がったが、目は開いていても何も見えなかった。そこで人々は彼の手を引いて、ダマスコへ連れて行った。

使徒 9:9, 彼は三日の間、目が見えず、また飲み食いもしなかった。

彼は三日の間、目が見えず、また飲み食いもしなかった。目が見えなくなったサウロが何を考えていたのか聖書には何も書かれていないので、想像するしかありません。サウロは神を恐れている人なので、自分はイエス・キリストが生きていることも知らずに、イエス・キリストの蘇がえりを信じていたクリスチャンを皆殺しにしていた、しらずにやったこととはいえ神様からどのような刑罰を受けるのかを考えると、何ものどを通らなかったと思います。

(C)主に用いられたアナニヤ

使徒 9:10, さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と答えた。

使徒 9:11, すると主はこう言われた。「立って、『まっすぐ』という街路に行き、サウロというタルソ人をユダの家に尋ねなさい。そこで、彼は祈っています。

「幻」=実在していないのにその姿が実在しているように見える

イエス様はアナニヤを用いられた。イエス様はサウロがユダの家にいることを知っておられた。そしてサウロが祈っていることも知っておられた。

使徒 9:12, 彼は、アナニヤという者がはいつて来て、自分の上に手を置くと、目が再び見えるようになるのを、幻で見たのです。」

イエス様はサウロにアナニヤというものが来て自分の頭の上に手を置くと、目が再び見えるようになることを幻で教えているのです。

使徒 9:13, しかし、アナニヤはこう答えた。「主よ。私は多くの人々から、この人がエルサレムで、あなたの聖徒たちにどんなにひどいことをしたかを聞きました。

使徒 9:14, 彼はここでも、あなたの御名を呼ぶ者たちをみな捕縛する権限を、祭司長たちから授けられているのです。」

アナニヤはイエス様が幻の中で言っておられるのにイエス様の命令に従えないのです。それほどアナニヤはサウロを恐れているのです。

使徒 9:15, しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。

しかしイエス様はアナニヤの言い訳を聞いて、サウロとはそんなに恐ろしい人間なのか、とアナニヤの言い訳を聞いてはくれません。「行きなさい」これは誰も逆らえないイエス様の権威です。

マタイ 28:18, イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

サウロはイエス様の名を異邦人、王たち、イスラエル人の前に運ぶ、わたしに選びの器です。サウロはイエス様が選ばれた選びの器なのです。

使徒 9:17, そこでアナニヤは出かけて行って、その家にはいり、サウロの上に手を置いてこう言った。「兄弟サウロ。あなたが来る途中でお現われになった主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」

アナニヤはイエス様の命令に従ったのです。アナニヤはサウロにとらえられて殺されるかもわからない、しかしイエス様の命令に従ったのです。「兄弟サウロ。あなたが来る途中でお現われになった主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」

使徒 9:18, するとただちに、サウロの目からうろこのような物が落ちて、目が見えるようになった。彼は立ち上がって、バプテスマを受け、

サウロの目からうろこのようなものが落ちて、目が見えるようになった。彼は立ち上がってバプテスマを受けた。

使徒 9:19, 食事をして元気づいた。サウロは数日の間、ダマスコの弟子たちとともにいた。

結論

サウロに伝道したい人がいると思いますか。私の和歌山の姉や兄に伝道する難しさとは比べ物になりません。サウロが救われることは誰でも不可能だと思ったことでしょう。

創世記 17:1, アブラムが九十九歳になったとき主はアブラムに現われ、こう仰せられた。「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前を歩み、全き者であれ。」

私たちが信じている神様は全能の神様です。ここで全能というのは、神様は約束されたことは必ず守ってくださるという意味です。

創世記 15:2, そこでアブラムは申し上げた。「神、主よ。私に何をお与えになるのですか。私にはまだ子がありません。私の家の相続人は、あのダマスコのエリエゼルになるのでしょうか。」

創世記 15:3, さらに、アブラムは、「ご覧ください。あなたが子孫を私に下さらないので、私の家の奴隷が、私の跡取りになるでしょう。」と申し上げた。

創世記 15:4, すると、主のことばが彼に臨み、こう仰せられた。「その者があなたの跡を継いではならない。ただ、あなた自身から生まれ出て来る者が、あなたの跡を継がなければならない。」

創世記 15:5, そして、彼を外に連れ出して仰せられた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。「あなたの子孫はこのようになる。」

神様はアブラムに

創世記 15:5, そして、彼を外に連れ出して仰せられた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。「あなたの子孫はこのようになる。」

の約束をされました。アブラムに子どもが 10 人ぐらいいて、孫が 100 人ぐらいいたら、ひょっとしたら子孫が星の数のようにになると約束されたら、3000 年もたてば星の数のようになる事を信じる事が出来るかもしれません。しかしアブラムには子供が一人もいないのです。

アブラムがハランを出た時は 75 歳でした。

創世記 16:3, アブラムの妻サライは、アブラムがカナン土地に住んでから十年後に、彼女の女奴隷のエジプト人ハガルを連れて来て、夫アブラムに妻として与えた。

アブラムがハランを出た時は 75 歳でしたが、あれから 10 年もたってしまったのです。アブラムは 85 歳です。私は今 83 歳ですが、私と家内の間に赤ちゃんが生まれる可能性はありません。

創世記 15:5, そして、彼を外に連れ出して仰せられた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。「あなたの子孫はこのようになる。」

神様は約束を守られました。今のイスラエルの人口は 934 万人です。東京都の人口は 1000 万人ですから、アブラムの時代の人口と比べると 1000 万人は星の数ほど多く見えたことでしょう。神様はアブラムに不可能と思える約束をされましたが、神様はその約束を守られました。

神様は全能の神様です。神様がサウロを救うことは簡単なことです。神様は**全能**の神様です。

次にアナニヤは

使徒 9:15, しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

アナニヤがイエス・キリストの御言葉に従う事は簡単な事でしょうか。アナニヤはサウロに殺されるかも知りません。しかしアナニヤはイエス・キリストの権威に従ったのです。

マタイ 28:18, イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」

イエス・キリストの権威に従うとはどのようなことでしょうか。

ルカ 5:4, 話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい。」
と言われた。

ルカ 5:5, するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つ
とれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。」

「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。」

ペテロがイエス・キリストの権威に従えない理由

- ①魚は夜とるのです。明るくなって網を下ろしても魚に網が見えるので、魚は網から逃げて
しまいます。
- ②夜通し働きましたが何一つとれませんでした。彼らは疲れています。疲れているときにも
う一度同じことをやりなさいと言われても、やりたくないのです。
- ③夜通し働きましたが何一つ取れませんでした。彼等には網を下ろしたら魚が取れるとい
う期待感がないのです。期待感のないことは誰もやりたくないのです。

ペテロがイエス・キリストの権威に従った結果

ルカ 5:6, そして、そのとおりにすると、たくさんの魚がはいり、網は破れそうになった。
ルカ 5:7, そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼ん
だ。彼らがやって来て、そして魚を両方の舟いっぱい上げたところ、二そうとも沈みそう
になった。

イエス・キリストの権威に従うとイエス・キリストが働いてくださるのです。

【説教:大木英雄牧師】